

社協だより

今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。
毎年多数の温かい募金をご協力頂きありがとうございます。

～赤い羽根のおいたち～

昔、ヨーロッパのある村で1人の牧師が、道端の樅の木に「与えよ、取れよ」と書いた箱をつるしておきました。生活に困っている人や病人、老人を助けるためのものでした。これをみた村人の中で、多少とも余裕のある人はその箱の中にいくらかのお金を入れ、困っている人は箱の中から必要なだけお金を引き出して役立てました。この牧師の精神 ～たすけあいのこころ～ が現在の赤い羽根共同募金運動に受け継がれたといわれています。皆様の温かいご協力をお願い致します。

(赤い羽根共同募金の使い道についてはP2をご覧下さい)



昨年の街頭募金の様子



2020年度恵庭市
共同募金ピンバッジ

目次

赤い羽根共同募金について	P2
社会福祉協議会の事業について	P4
ヘルバーステーション情報	P6
社協からのお知らせ	P7
愛情銀行について	P8

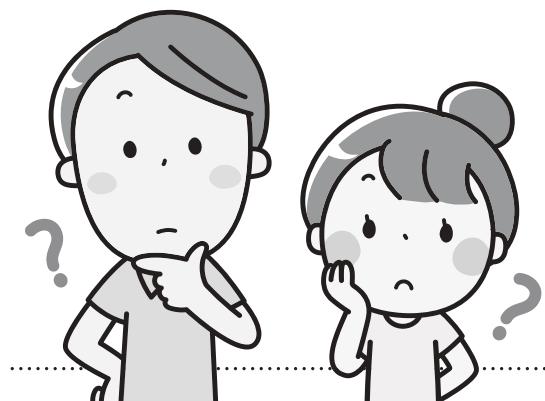
赤い羽根共同募金



今年も10月1日から始まります！赤い羽根共同募金！

昨年は皆様のご協力により、「**7,061,939円**」のあたたかい心が込められた募金が集まりました。

赤い羽根共同募金は、「自分の町を良くする仕組み」
“惠庭市”の様々な事業に活用されます。
今回は、皆様から集まった募金が何に使われているのかご紹介いたします。



赤い羽根共同募金って
何に使われてるのかな？

惠庭市内の福祉事業に！



地域の交流の場づくり



【ふれあいサロン事業】

地域交流イベント



【ふれあい福祉まつり事業】

福祉のまちづくり



【小地域ネットワーク事業】

他にも、惠庭市白雪会・惠庭市子ども会育成連合会・惠庭市ことばを育てる親の会・惠庭市老人クラブ連合会・惠庭市手をつなぐ育成会等市内の様々な団体の運営・交流・事業のために使われているんだ！



そうか！赤い羽根共同募金は
“惠庭市”的高齢者・障がい者・大人も
子どもみんなの暮らしを豊かにする
仕組みとして使われるんだ！
だから赤い羽根共同募金は、
じぶんの町を良くするしくみ。
って言われるんだね！

赤い羽根の由来とは…?

昔、ヨーロッパやアメリカの先住民族の中で赤い羽根が「善い行い」や「勇気」の象徴とされてきたことによるとされています。

現在、赤い羽根を使っているのは日本と南アフリカだけですが、共同募金は、アメリカやカナダなど43の国や地域で行われています。



バッジのおはなし

社協広報7月号でもご紹介しましたが、2020年度恵庭市共同募金委員会のバッジのデザインは、恵庭市が11月1日に「恵庭市制施行50周年」を迎えることから、その記念ロゴマーク・キャッチフレーズと赤い羽根がコラボレーションしたものです。



恵庭を象徴する「花のまち」をイメージし、共にまちを育て、時を刻んでいる市民がみんなで50周年を祝う様子を表現しています(⑉)

※なお、バッジにつきましては、福祉会館等で500円以上の募金でお渡ししています。

赤い羽根情報報

災害時にも使われる赤い羽根共同募金!

集まった募金は、北海道・道外の災害時にも使用されます。

最近では、「大阪北部地震」「平成30年7月豪雨」「平成30年台風24号」や、道内では「平成30年台風21号」そして、「胆振東部地震災害」の際に使用されました。

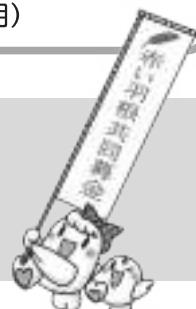
胆振東部地震の際には、ボランティア活動の需給調整やバックアップの拠点となる、災害ボランティアセンターの立ち上げ・発電機やヘルメット等の機材購入等の活動資金として活用されました。

また、災害見舞金として被災世帯への助成等も行われました。



むかわ町災害ボランティアセンター
(平成30年9月)

10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。
ご協力お願いします。



社会福祉協議会の事業について

エコキャップ・古切手などの 収集整理ボランティアを再開しました

新型コロナウイルス感染防止のため施設でのボランティア受入中止やボランティアからの活動自粛があつたことからボランティアセンターでの活動を行っていませんでしたが、5か月ぶりに7月からエコキャップ・古切手などの収集整理を再開しました。

収集整理を行う際にはソーシャルディスタンスを保つようにし、ボランティア各自により使う椅子や机を消毒します。

また、検温、マスクの着用、常時換気、飲食禁止(個人での水分補給は可能)も感染予防として実施しています。

自粛期間は誰とも会えず寂しい思いもしていましたが、こうして活動を行うことで色々な人に会えるのが嬉しいとの声も聞かれています。

以前のように様々なボランティア活動を順次再開していくことはには時間がかかりますが、予防対策を万全に行い皆さんが安全に活動できるように職員一同努めています。



あつたまーるポイントのチラシが新しくなりました！



平成28年7月から開始したあつたまーるポイントは、5年目を迎えて活動施設や活動内容も増え、活動の幅が広がっている為チラシをリニューアルしました☆

この事業は、生きがいづくりや地域での支え合いを目的としており、恵庭市内の65歳以上で介護認定を受けていない方(要支援1・2は可)が、恵庭市が指定する高齢者支援施設等でボランティア活動をするとポイントがもらえます。

貯まったポイントは年間最大50ポイント5,000円を上限に換金または本会もしくは恵庭市に寄付することができます。

現在、新型コロナウイルス感染防止の為休止している活動もありますが、再開した時にすぐに活動が出来る様、事前に登録し活動先を決めておくこともできます。

市内の公共施設等にポスターの掲示やチラシを配置していますので、ぜひ手に取りご覧ください。

あつたまーるポイントについて興味がある方は

事業推進課(TEL 32-0007)までご連絡下さい。

皆さんのご連絡お待ちしております☆

cope移動販売車(おまかせ便カケル)

社協生活支援コーディネーターと市内4圏域の地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが調査し、市内で店舗の閉店により近くに食料品店がなく高齢者が買い物に困っているという声を聞き、移動販売車の運用について恵庭市役所も含めて検討を重ねてきました。

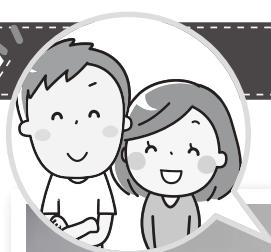
そしてついに令和2年6月9日よりcopeの移動販売車「おまかせ便カケル」が毎週火曜日から土曜日、恵庭市内を運行しています。

鮮魚・精肉・野菜・果物・総菜などの食品のほか、日用品など含め約1000品目の商品が用意されています。

音楽を鳴らして地域を回っていますので、お近くに来た際には、お気軽に立ち寄ってみてください。



ささ恵あいマップ(つどいの場編・地域資源編)



ささ恵あいマップは、「つどいの場編」と「地域資源編」の2種類あります。

「つどいの場編」は、お住いの地域ごとに老人クラブやふれあいサロンの情報が掲載されています。

「地域資源編」は、食材・日用品の配達や家事・通院支援サービス、訪問してくれる理美容店や歯科医院、福祉用具の取扱店などの情報が掲載されています。

冊子は、社会福祉協議会窓口での配布、ホームページからの閲覧や印刷もできます。

その他、恵庭市介護福祉課・支所・出張所、各憩の家、ご協力いただいた事業所に設置されています。ぜひ、お手に取ってみてください。

皆さんからのご意見もお待ちしております。

上記の「移動販売車」・「ささ恵あいマップ」のお問い合わせ先

恵庭市社会福祉協議会 事業推進課 生活支援コーディネーター
TEL.32-0007 (担当:長政・岡・石川)

ヘルパーステーション情報

恵庭市社協ヘルパーステーションは、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底し、コロナ禍でも安心したサービスを提供します。



恵庭市社協ヘルパーステーションは、新型コロナウイルス感染症の予防対策として様々な取り組みを行っています。

住み慣れた地域で安心した生活ができるように、今できる最善の予防対策をとりながら、コロナ禍においても今までと変わらず安心のサービスを提供します。

① 職員の健康管理を徹底しています。

普段から身体の変化に注意を払い、食事・休養・睡眠など抵抗力を維持するよう職員各自が健康管理に努めています。

また、全ヘルパーに非接触型体温測定器を配布し、毎日の検温記録の他、訪問先の利用者様にも検温にご協力いただいています。



② 職員の衛生管理を徹底しています。

感染予防のため常時マスクを着用しているほか、支援の前後には手洗い、うがいを徹底しています。また、支援の際に使用した使い捨てエプロンや手袋は、事務所内に持ち込みます、指定の場所で破棄しています。

③ 事務所の施設や設備、車両等は定期的に消毒を行い清潔を保っています。

事務所内の定期的な換気、備品や車両の消毒、テーブルにはアクリル板を設置するなど、感染予防に努めています。



④ 3密(密閉・密集・密接)の回避や正しい感染予防の知識習得に努めています。

会議や打ち合わせの際は3密にならないよう、十分な座席間隔に配慮しています。

また、在宅医療・介護連携支援センターと連携し感染予防のアドバイスを頂いたり、感染対策研修会や医療・介護職の感染予防対策有志の会へ積極的に参加し、研修や関係者間の情報交換を行うなど、感染予防の正しい理解と対策に努めています。



コロナ禍でも感染予防を徹底し、安全安心なサービスを提供します！



社協からのお知らせ

令和2年度 ふれあい福祉まつりの中止について

例年、地域の皆様に福祉についてのご理解を深めていただくことを目的に「ふれあい福祉まつり」を開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉の増進に尽力された方や団体に対しその功績をたたえるための表彰式のみの開催とし、福祉団体などの出展・映画会・抽選会等は中止することになりました。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



これからのサロン活動のための虎の巻



新型コロナウイルス感染予防としてこの間、地域でのサロン活動が休止していましたが、感染予防に取り組みながら徐々に活動が再開されてきています。

サロン活動の再開には、参加される皆さんのが安心して参加できるよう、それぞれの団体で相談しながら、準備を進めていく事が大切です。

そこで、社会福祉協議会と恵庭市・恵庭市地域包括支援センターでは、サロン活動における感染予防のポイントについてまとめたガイドラインとして、「これからのサロン活動のための虎の巻」「これからのサロン活動のための虎の巻 別冊～実践編～」を作成しました。

冊子は、社会福祉協議会窓口、恵庭市介護福祉課、恵庭市地域包括支援センター(たよれーる)に設置されています。ぜひご活用ください。

福祉のまちづくり 第6期地域福祉実践計画の策定を進めています

第5期地域福祉実践計画が令和2年度で終了したことから、現在、次期計画となる第6期地域福祉実践計画(令和3年度～令和7年度)の策定を進めています。

策定にあたっては、本会の地域福祉部会を計画の策定委員会として、第5期計画の事業実施状況を踏まえ、評価・検証を行うとともに、今後、市民の皆様・関係団体などのご意見を把握するため、地域福祉懇談会や関係団体アンケート等を予定しています。





愛情銀行へ ご寄付をありがとうございます。

令和2年6月～8月までに愛情銀行へ寄付をされました方々を紹介します。 (敬称略)

金銭の寄付

谷和子、寺崎ケイ子、小田原久美子、内堀千代子、丹治祝子、白畠伸紘、鷺田真理子、木村岩夫、佐藤達敬、福永鐘部、福田あけみ、藤野重吉、宮下昇、太田泰子、能代川哲郎、坂野幸子、平道久雄、吉田義信、水上伸雄、西野和文、中原美智子、田中大士、大山康男、白取洋子、重本尚美、原田キミ子、池田陽子、小林一樹、奥村智恵子、出倉一仁

物品の寄付

(エコキャップ、リングブル、福祉用具、使用済み切手、テレカ等)

原ミツ子、佐藤紘吉、木村文夫、橋禮子、斎藤三代治、木下誠一、梶村ユキ、樋口実、銅利行、白鳥満都子、佐野淑子、橋本サヨ子、川崎健司、三瓶優真、吉本容子、江田町子、加納亜希子、斎藤祐司、小林正、上田充、本間弘子、菊田曠・浩子、川合文子、木村貴士、石塚達夫、小田原久美子、上野彬、斎藤美弥子、三浦理恵子、渡辺勝、米中正子、山本三津江、幸町寿クラブ、島松幼稚園、工房えにわ、恵み野病院、黄金南曙クラブ、恵み野東むつみ会、車いすレクダンス、恵庭郵便局、恵み野北町内会、株よねざわ工業、株ホクレン油機サービス、山崎製パン株、島松支所、恵庭市役所、恵み野出張所、恵庭市体育協会、日赤島松分団、恵庭商工会議所、恵み野北町内会、やまびこ作業所、みんなの居場所ひだまりクラブ、エム・エス・ケー農業機械株、ワーカーズコープ、グループホーム北のくにから、パチンコバーー恵み野、すずらん保育園、札幌年金受給者協会、恵庭南病院通所リハビリテーション、坂口水道設備株、白樺北町内会、レンゴー株、島松寿町町内会、黄金ふれあいセンター、桜町町内会女性部、金光教恵庭協会一同、恵庭まちづくり協同組合、株堀川、本多技建工業株

ペットボトルキャップの収集ボックスは、福祉会館、島松支所、恵み野出張所、総合体育馆、市役所、市民会館に設置しております。みなさまのご協力に感謝いたします。

★お知らせ 3件★



①令和2年7月災害義援金受付中

日赤恵庭市地区では、令和2年12月28日まで
義援金受付を社協窓口で行っています。

令和2年7月3日からの大雨災害で被災された方々を支援するため、義援金を受け付けております。なお、皆さま方からお寄せいただきました義援金は、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお届けします。

②第2福祉会館の住所について

広報7月号に掲載しました恵庭市第2福祉会館の住所についてお知らせします。

【恵庭市第2福祉会館】 住所：恵庭市末広町125番地1
(福祉会館と同じ敷地内になります)

③予告：2021年カレンダーリサイクル市は 1月上旬の開催を予定しています

詳しくは次回発行(12月号)でお知らせいたします。



○追記掲載 (敬称略)

【3,000円～5,000円未満】文京さわやかクラブ
【5,000円～10,000円未満】柏地区育成連絡会(川沿)
【10,000円～20,000円未満】日赤西分団

お詫び と訂正

広報7月号に掲載しました、P7赤い羽根
共同募金寄付者ご芳名に記載漏れがあり
ましたので、お詫び申し上げます。

「えにわ社協だより」は共同募金の助成を受けて発行しています。

次回の広報発行は
令和2年12月
予定です。